

部局名	総務企画部	所属名	総合企画課 国際推進室	所属長名	伊藤 一男	電 話	483-1151 内線2337
-----	-------	-----	-------------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	4078	事務事業名称	八千代こども国際平和文化事業					短縮コード	経常		臨時	4078
予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	07	企画費
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務		根拠法令等		八千代こども国際平和文化基金の設置、管理及び処分に関する条例							
☐ その他												
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）												
国が提唱した「ふるさと創生1億円」対象事業として、平成元年「八千代こども国際平和文化基金事業」として創設。 ①国際理解事業 ②国際文化交流事業 ③国際協力事業 の3つの事業から成る。 ①では小5・中2を対象に(財)日本ユニセフ協会製作のビデオなどを見て感じたことを国際平和作文として募集、コンクールを行い入選作文を収録した作文集を発行している。 ②ではタイ王国バンコク都とこども親善大使の派遣・受入を行っている。 ③では家庭で眠っている文房具をこども親善大使の通っている学校で集め、バンコク派遣時に持参。都知事を通して必要としている子どもたちに届けている。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	06	計画推進のために					
この事業がスタートしてから20年が経ち、歴代の八千代こども親善大使にも今では成人者が増えてきた。そして、自分たちの経験を活かした国際交流・理解活動を行っていかうという想いが活動として定着してきている。そのような自主的な活動が認められ、平成17年度に地域づくり総務大臣表彰を受賞した。平成20年度には、こども親善大使による交流20年を機に、友好都市提携を行うことに合意した。（国際推進事業で実施）					大項目（節）	01	パートナーシップによる市政運営と市民自治の推進					
					中 項 目	02	地域の視点に立った主体的なまちづくりの推進					
					小項目（施策）	02	平和と交流によるまちづくりの推進					
					細 項 目	02	市独自の国内外との交流によるまちづくりの推進					
				実 施 計 画 の 計 画 事 業								
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		～		計 画 事 業 費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市内の小・中学生							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： バンコクこども親善大使の受入、八千代こども親善大使のタイ王国バンコクへの派遣、国際平和作文コンクールの実施、バンコクへの文房具の提供、歴代の八千代こども親善大使の会「ダイラックアン」と日本ユニセフ協会との共催で「親善大使的国際平和展」を開催。							
	※平成20年度に計画していること： 前年度と同じ。 交流20年にあわせて、こども親善大使20名の受入と派遣を行う。							
意図 （何を狙っているのか）	基金事業を通して、子どもたちの平和に対する意識の高揚と国際理解の向上を図るとともに、バンコクとの交流により国際感覚を持った人材を養成するものである。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	18年度	19年度		20年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	小学生児童数・中学生生徒数	人	16,627	17,000	16,923	17,000	
	指標2	小学5年生児童数と中学2年生生徒数	人	3,294	3,389	3,462	3,403	
	指標3							
活動指標	指標1	国際平和作文コンクールの応募者数	人	2,885	2,948	3,006	3,092	
	指標2	八千代・バンコクのこども親善大使の数	人	20	20	20	40	
	指標3	親善大使的国際平和展の開催日数	日	2	2	2	2	
成果指標	指標1	作文を書くにあたり外国のことに興味を持った人の割合	%	100	100	100	100	
	指標2	八千代こども親善大使の数	人	10	10	10	20	
	指標3	親善大使的国際平和展に参加した人数	人	1,000	1,000	1,100	1,000	
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	4078	事務事業名称	八千代こども国際平和文化事業				所属名	総合企画課 国際推進室
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続 ☐ 手法プロセスの改革・改善 ☐ 事業規模の拡大・縮小 ☐ 統合・役割見直し ☐ その他			国際理解・国際文化交流・国際協力の３本の柱を中心にした事業の展開は、国際感覚を持った子どもたちの人材育成に結びついている。			
		☐ 廃止						
	☐ 休止							
	☒ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			平成20年度は交流20年を記念して、こども親善大使20名の受入と派遣を行う。 また、昨今の石油事情に伴う航空料金の値上がりにより、旅費が増加する見込み。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
		低 下	☐	☐	☐			

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
こども親善大使として派遣された児童や生徒に限らず、市民には大きな影響を与えている。特に受入事業に関しては、学校のみならず地域を上げての受入事業となっていることから「このような交流の機会を持つことができて、たいへん良い体験になった」という市民からの声が寄せられている。									

所属長コメント	こども親善大使は、帰国後もOG・OB会である「ダイラックアン」を結成し、親善大使としての経験を生かし、親善大使的国際平和展の開催や本事業の協力等、国際交流、国際平和について積極的に活動しており、本事業の目的である人材育成に大きな成果をあげている。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続 ☐ 手法プロセスの改革・改善 ☐ 事業規模の拡大・縮小 ☐ 統合・役割見直し ☐ その他			具体的な有効性や効率性向上の手段を検討し、より多くの市民が関われるような事業として改革・改善を推進すべき。					
	☐ 廃止								
	☐ 休止								
	☒ 現状のまま継続								